

【2025年度】放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

					公表年月		2026年2月	事業所名	ハッピーライフみなみおおさか	
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容によって空間を区切るなど、利用している子どもたちがやりたい活動ができるように工夫しています。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	必要時は、保護者様や保育園・幼稚園等にご相談させていただき送迎時間の調整を行っています。	介助が必要な児童が複数名利用されているため、スタッフの手が足りない場面も見受けられる。必要に応じて、他事業所から応援に来てもらうなどスタッフの増員を心掛けています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関先に段差があるため、マットなどを活用して子どもたちが玄関の使用時以外に行くことがないようにしています。	マットを使用しているが、活動の際に倒れてしまうなど危険な部分も見受けられるため、活動の妨げにならないようなサークルを使用していくなど検討しています。			平日に関しては、来所時間がバラバラなこともあり活動時間的な部分から基本的には同じ遊びが中心となってしまっています。しかし、集団遊びや時間があるときには近隣公園や貸農園に出かけるなど固定化しないように工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		終業後に毎日掃除を徹底しています。また、必要に応じて掃除を行うなど意識しています。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動室とは別にクールダウンできる場所の確保もしています。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全スタッフで声掛けや話し合いを行い、情報伝達を行っています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談や送迎時にヒヤリングを行い、保護者様のニーズや希望等を確認しています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常時コミュニケーションを図りながら、疑問に思ったことなどを話し合っ業務改善に努めています。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		年度変わりに保護者様や従業員に向けてアンケートを実施して、ご意見をいただいた内容について業務改善に繋げています。					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		虐待防止研修など定期的に研修を実施しています。また、年間の研修予定スケジュールを活用するなど自己研鑽にも努めています。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		スタッフ間で話し合いを行い、支援プログラムを決定しています。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○		面談や送迎時等でヒヤリングを行い、保護者様のニーズや希望等を確認して個別支援計画に反映しています。					
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		スタッフ間で定期的にモニタリング会議などを行い、保護者様からのニーズ等や施設での様子など情報共有をしてから検討しています。					
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全スタッフが個別支援計画書を確認して、同じ方向を向いて支援が行えるように心掛けています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		既定のアセスメントシートを活用して、日々の利用記録とともに確認を行っています。					
適切な支援の提供	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			面談等で保護者様や本人の意向も確認しながら、各項目においてスタッフ間で検討し、できる限りの具体的な支援を設定しています。また、支援項目については保護者様からの確認も行いながら決定しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			スタッフ間だけでなく、利用している子どもたちや保護者様からもご意見やご希望をお聞きしながら検討しています。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		土曜日や長期休みなどには、様々なイベントを用いながら工夫しています。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			個別活動も大事にしながら、集団活動の楽しさを知ってもらえるように活動内容(おもちゃや遊びなど)を検討して支援を行っています。				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			朝礼や終礼を毎日行っており、その日にあったことをスタッフ間で情報共有を行い、連携を図っています。				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			朝礼や終礼を毎日行っており、その日にあったことをスタッフ間で情報共有を行い、ヒヤリハットも含めた「気付き」についても共有を行っています。				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			日々、業務日報に共有が必要な内容を記入するなど全スタッフが確認できるようにしています。				
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			面談前後にて前回の個別支援計画書の見直しのためスタッフ間でモニタリングを行い、保護者様からのニーズと照らし合わせて検討しています。				
	24	【放デイ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			子どもたちの心身の状態に合わせて活動を組み合わせながら支援を行っています。				
	25	【放デイ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			絵カードなど視覚的にアプローチできるものを活用しながら自己決定・自己発信ができるように支援を行っています。				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			スタッフ間で話し合ったことも含めて、事業所内から代表者を選出して参加しています。				
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			医療的ケアを必要とする児童も利用しているため、訪問看護や訪問リハビリ、主治医なども連携を図りながら支援を行っています。				
	28	【放デイ】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			都度、送迎時に学校やいきいき活動の先生と情報交換を行っています。また、必要に応じて連絡を取り合うなど密な連携を図っています。				
	29	【放デイ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			必要に応じて保護者様やかんづ系機関と連携を行い、情報共有に努めています。				
30	【放デイ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○			現在、該当する児童はいませんが、今後円滑な引継ぎをしていくために支援内容の確認を行っています。また、必要に応じて相談支援専門員とも連携を取りながら対応していきます。				

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	31 【児発】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	32 【児発】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修の機会は少ないが、必要に応じて情報交換を行い、研修を受講できるようにしています。	
	34 【放デイ】放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		今回、地域のデイサービスと一緒にイベントを開催する流れとなり、普段関わりのない人との交流の機会を設けています。	一緒に活動させていただくデイサービス側とより綿密な打ち合わせを重ねて、活動時間の調節などを行い、子どもたちが楽しめる空間づくりに努めていきます。
	35 【放デイ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		『すみすみ会』という事業所がある地域の放課後等デイサービス同士の話し合いや情報共有の場に参加させていただいています。	
	36 【児発】保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
保護者への説明等	37 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時の情報交換はもちろん、面談やヒヤリングの際にも情報共有を行っています。	
	38 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		スタッフが受講した研修内容から保護者様の悩みの解決につながる可能性のある研修に関しては、保護者様向けに開催を行い、情報共有しています。	
	39 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に保護者様にご理解いただけるよう、出来る限り具体的な説明に努めています。	
	40 個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談や送迎時にヒヤリングを行い、利用者本人や保護者様からの意向を確認しています。	
	41 「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書を作成後は、送迎の際に保護者様に説明を行って、ご不明な点に関してはその都度対応、修正後再度ご説明させていただきます。	
	42 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からのご相談内容については送迎時や面談時に対応させていただいたり、相談支援専門員と情報共有を行いながら助力させていただいています。	
保護者への説明等	43 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		面談時や保護者アンケートでもご要望があるもののいまだ交流の場を設けるに至れていない。保護者様のご都合も考慮しながら保護者参加型のイベントや保護者カフェなど交流の場を設けていきます。
	44 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		どんな些細な内容であっても保護者様からの発信に対して真摯に向き合い、迅速に対応できるようにスタッフ間での情報交換やチーム連携を意識しています。また、必要時には会社全体への情報共有も心掛けています。	
	45 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用申し込みの開始とともに毎月のイベント予定表を配布したり、SNS(Instagram)を活用して活動内容の発信や、HPの更新・お知らせ等の情報発信を行っています。	

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	改善内容又は改善目標
保護者への説明等	46 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		書類等に関しては、鍵付きのロッカー等を使用して保管しています。また、管理者の発信により個人情報の取り扱いについての注意喚起を都度行っています。	
	47 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カード等の視覚的ツールの活用や契約書などのルビ表示を行っています。また、必要に応じては契約書等の基本情報を入力して訂正してもらうのみにすることも心掛けています。	
	48 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ハロウィンなど大きなイベントの際に他のデイサービスや地域の商店街にご協力をいただき、一緒に活動できるように行っています。	ご協力いただくデイサービスや商店街の代表者より綿密な打ち合わせを行い、活動時間の確保等の調整を行っています。
非常時等の対応	49 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時や面談時にそれぞれのマニュアルについて説明を行っています。また、確認できるようにスタッフや利用者家族にもお伝えしています。避難訓練に関しては、年3回以上実施しています。	
	50 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、契約時に保護者様にお伝えしています。年3回の避難訓練や防災学習を行っています。	
	51 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にアセスメントで必ず確認しています。また、面談時にアセスメントの見直しを行うとともに、必要に応じては主治医から服薬に関する指示書を作成してもらい提出していただいています。	
	52 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアセスメントで必ず確認しています。また、調理イベントの際は、事前に再度アレルギーの有無について確認を行っています。	
	53 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成や研修を行い、安産に配慮しながら活動時のスタッフの配置を意識しています。	
非常時等の対応	54 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		保護者様に周知を行い、必要時に閲覧できる用意しています。	
	55 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書をその都度作成して、朝礼や終礼時に全体で周知を行って再発防止に努めています。	
	56 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修を行い、全スタッフに周知しています。	
57 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		契約時に身体拘束について詳しく説明を行い、同意書にサインをいただいている。また、必要な児童に関しては個別支援計画書にも記載しています。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。